

科目名: <b>FPのための不動産運用</b>		科目コード	EH60
科目主査: <b>佐藤 益弘</b> 担当講師: <b>佐藤 益弘</b>		単位	2
		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	教材・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要
<p>一個人が不動産の取引を経験する機会はそれほど多くない。ただ、金額も高額になるため、人生設計上、大きな影響を受けるため、慎重さが要求される。また、不動産の取り扱いについては多くの法律や規制があり、改正も行われている。</p> <p>本科目では、家計管理上で、不動産という資産に適切に対応するため、不動産に関する各種法律および税務の知識を身につけ、投資や有効活用に役立つための知識を得ることを目的とする。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>日々のニュースの中で「住宅」「土地」「不動産」に関わると思える点に注目しておいてください。</p> <p>また、テキストは完全に理解できなくとも、専門用語等に慣れるため、一読しておいてください。</p>		
テキスト	ファイナンシャルプランナー基本テキスト『不動産』TAC		
この科目の到達目標	<p>①不動産価格(評価)、不動産関連法律及び税務の基礎的知識、不動産の投資や有効活用方法について説明することができる。</p> <p>②事例を基に、税法、都市計画法、建築基準法に基づく計算や、不動産運用の問題点の把握と解決策の提案ができる。</p>		
成績評価の方法	1日目の確認テストおよび最終試験とします。きちんと授業を聞くようにしましょう。		
事後学習	<p>時代の変化とともに「不動産」を取り巻く環境も変化しています。そのような中、不動産関連のルール(法律)や税制も改正されています。本講義で学んだことはあくまでベース＝スタートラインなので、ことあるごとに新聞などで環境の変化を確認し、実生活で役立てるようにして欲しいです。</p>		
事後学習の参考文献	<p>昨今の不動産を取り巻く情勢や最新の話題を入手するには、日本経済新聞を薦めます。状況だけでなく、その背景なども理解することは非常に大切です。</p> <p>資格試験受験のための教材については、WEBで過去問を確認し、不明な点はテキストなどと照らし合わせ確認してください。</p>		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 電卓			